

1. 訪販化粧品工業協会の設立経緯

1. 設立経過

昭和 47 年 10 月末から 11 月初旬にかけて、化粧品の家庭訪問販売員の強引な押し付け販売によって、多大な迷惑を被った消費者の苦情が日刊新聞投書欄に掲載され、これを見た読者から同じような被害を受けたという電話や手紙が寄せられた。

さらに 12 月 13 日、日本消費者連盟創立委員会（委員長竹内直一氏）から通商産業大臣あてに、家庭訪問販売による化粧品の不公正販売を取り締まるよう要望がなされた。

化粧品の家庭訪問メーカーは、従来から、会社ごとに、それぞれ販売員教育を厳しく行い、行き過ぎのないように指導していたが、一部にこのような被害を生じたことについて責任を痛感し、早速対策を協議した。

通商産業省においても 12 月 21 日付けで、化学工業局長名をもって、日本化粧品工業連合会代表理事岡内英夫あてに「化粧品の訪問販売による被害が相次いで発生していることは極めて遺憾である。この種の被害を防止するとともに、苦情処理のため具体的処理を講ずるよう要請する」旨の通知が出された。

業界では、12 月 22 日、全国の家庭訪問販売メーカーに対策を協議するため参集を求め、28 社の代表が集った。協議の結果、業界として早急に行き過ぎた販売行為を是正し、消費者に正しく奉仕するため、新団体を結成することを決定した。

次いで、昭和 48 年 1 月 26 日、2 月 16 日、準備委員会を開いて検討し、さらに 2 月 27 日全体会議を開いて協議して、3 月 9 日創立総会開催の運びとなった。

2. 創立総会

昭和 48 年 3 月 9 日（金）午後 3 時より、東京都港区赤坂葵町 2-1 葵会館において、「訪販化粧品工業協会」創立総会を開催した。

当日は、東京、静岡、名古屋、大阪の各地から家庭訪問販売化粧品本舗 31 社の代表が出席し、行き過ぎた販売行為を是正し、販売方法の適正化をはかり、業界の健全な発展を期するため「訪販化粧品工業協会」を設立することを決定するとともに、規約、倫理要綱の制定及び役員を選任を行った。

役員

理事長	鈴木 常司	(株)ポーラ化粧品本舗 (株)ポーラ)
副理事長	野々川 大介	日本メナード化粧品(株)
〃	山下 静夫	龍宝堂製薬(株) (オープン化粧品(株))
専務理事	馬場 武次	日本化粧品工業連合会
理事	足立 明	エイボン・プロダクツ(株)

理 事	川村	修	シャンソン商事(株) (株)シャンソン化粧品)
	村岡	満義	(株)ナリス化粧品
	田原	梅一郎	明化産業(株)
	犬塚	尚典	(株)シーボン化粧品総合本舗 (株)シーボン)
監 事	石田	實	石田香粧(株)
	藤野	喬士	(株)日本ジョセフィン社 (株)アンズコーポレーション)